

平成 24 年度ふるさと創生基金事業計画書（素案）

栃尾地域ふるさと創生基金事業実行委員会

<p>事業概要</p>	<p>1 とちお魅力アップ作戦</p> <p>(1) 栃尾の未来育成・歌舞伎フォーラム事業（新規事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃尾地域では機会の少ない歌舞伎の観覧・体験のフォーラムを開催し、栃尾地域の伝統的な生活風俗や文化、行事などの再認識してもらう。 <p>【具体案】栃尾地域内の全中学生を対象に、NPO法人日本伝統芸能振興会による歌舞伎公演とともに衣装やメーキャップを体験するワークショップを行う。</p> <p>このフォーラムは2回公演として、同日夕方からは一般市民を対象として開催する。入場料：中学生 100 円、一般 1,000 円</p> <p>(2) 栃尾の未来育成・青少年育成講演会事業（新規事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃尾地域の明日を担う青少年の心身の健やかな成長は、社会全体の願い。青少年の健全育成に対する理解を深め、地域ぐるみの育成活動の拡大・充実を目指して講演会を開催する。 <p>【具体案】青年期に更生した経歴を持つ杉山裕太郎氏を講師に迎え、弾き語りを交えた講演会を開催する。対象は栃尾高校生徒、教師、PTA、秋葉・刈谷田中学校教師、PTA、一般の計 640 人。</p> <p>(3) 栃尾傘ぼこの保存・伝承事業（新規事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃尾地域の春の風物詩「大名行列」を構成する「傘ぼこ」行列は、年々参加町内が減り、継承者も減少している。「傘ぼこ」は古来「政ごと」から発し、現在は「祭ごと」として伝わるもので、その元は祇園まつりに象徴される。この伝統ある地域の宝を整備して伝承し、栃尾の魅力を市内外へ発信する。 <p>【具体案】「傘ぼこ」を所有する各町内や大名行列保存会と連携をはかり、「傘ぼこ」の補修を進め、台座を整備する。また、「傘ぼこ」の歴史や民衆との関わりなどを学ぶため、学識者を招き講演会等を開催する。</p> <p>(4) 栃尾産大豆にこだわった“あぶらげ”づくりによるPR事業（継続事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃尾産大豆による“あぶらげ”づくりへの助成。地産地消、農工商の連携により、栃尾地域の活性化につなげる。 <p>【具体案】「栃尾食と農のプロジェクト会議」と連携し、PR事業を行い、“栃尾あぶらげ”の新たな展開を情報発信する。</p> <p>2 リピーター倍増作戦</p> <p>(1) 謙信の里案内表示設置事業（継続事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 謙信の里づくり事業に絡め、平成 22 年度に市街地に案内表示板を 1 基、さらに 23 年度は 2 基設置する計画。これと連携して、栃尾を訪れる人に対してわかりやすい 	<p>案内表示を設置することで、栃尾の魅力を高め、リピーターの観光客増を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雁木通りに設置した燈籠と調和のとれた案内表示とし、まちなみの景観アップを図る。統一した栃尾らしいデザインとし、設置範囲を計画的に広げていく。 <p>【具体案】予算の範囲内で、秋葉公園や城山にわかりやすい道案内や説明板等を設置し、回遊型観光ができるまちなみにする。</p> <p>(2) 秋葉公園リニューアルPR事業（新規事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋葉公園の改修工事が、平成 23 年度で終了する。リニューアルされた公園を広く市内外にアピールして、公園内の日本一の火防の神・秋葉神社やここから眺める栃尾城跡など、栃尾地域の歴史・文化を再認識してもらい交流拡大や観光誘客を図る。 <p>【具体案】春、住民参加による公園周辺の防草シート張りや環境整備を行い、地域内のさまざまな団体に参加を呼び掛け、秋以降に秋葉公園の施設や魅力を活用したイベントを開催する。</p> <p>(3) 里山ミュージックフェス 2012 事業（新規事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然豊かな里山の中でコンサートを開催し、音楽を楽しんでもらうとともに栃尾地域や里山の魅力を発信して、地元の誇りを醸成し交流拡大や観光誘客を図る。 <p>【具体案】ふるさと交流広場を会場に、プロミュージシャンや市内アマチュアミュージシャンの演奏、里山トークなどのほか里山紹介ブース等を設け、来場者に栃尾をアピールする。</p> <p>(4) 全日本樽みこし綱引き選手権大会支援事業（継続事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ とちお祭の際開催される「樽みこし綱引き大会」の周知強化のため、メディアPRを展開し、参加団体の拡大とともにとちお祭の誘客を図る。 <p>【具体案】予算の範囲内でテレビ、ラジオ、新聞、情報誌などメディアへのPRを展開する。また各種ホームページへの掲載も積極的に働きかける。</p>
		<p>概算事業費</p> <p>平成 24 年度事業費 4,700,000 円 （平成 23 年度は 4,350,000 円）</p> <p>1 とちお魅力アップ作戦 事業費、助成金など（NKS コーポレーション、栃尾青少年育成委員会、栃尾傘ぼこ伝承会 ほか）</p> <p>2 リピーター倍増作戦 案内表示板設置費、助成金など（栃尾地域委員会、栃尾JC、栃尾観光協会 ほか）</p> <p>3 実行委員会運営費 謝金、消耗品など</p>